



南 雲 正

予算への公約の反映、 スキー産業の復活 教育施設等整備構想の 町民周知を問う

公約実現に向けた平成 22年度予算での取り組 みについて

質問

町政の全分野に及び30項
目近い事業の実施を公約に
掲げ、2期目の町長に就任し
たが、抽象的な提案が多く、
具体的な取り組み内容が見
えてこない。

町民の多くは、公約の実現
で町が活性化し、地域が豊か
になることを信じて、更に
4年間の町政運営を託し、
スピーディな施策の展開を期
待している。公約実現に向け
て平成22年度当初予算にお
いてどのような具体的な取
り組みがなされているのか。

町長答弁

中学生を対象とする子宮
頸がん予防、バイオマスタウ
ン構想による家庭系廃食油
回収、ペレットストーブ購入

助成、中国人観光客等誘致、
学校保育園統合検討、企業誘
致のための企業誘致優遇施
策の策定、土樽地区の農業生
産物と観光の有機的な組み
合わせ、「三俣道の駅」建設
予定地の造成と下排水路整
備等を新規に予定しているが、
今後必要と思われる事業に
ついては財源等を勘案し、地
域と協働を前提に協議し、出
来る限り実施したい。

スキー産業復活に向け、 スキーヤーが湯沢に求 めるものの徹底的な調 査の実施について

質問

若者を中心とするスキー離
れが進み、湯沢を訪れるスキ
ーヤーも最盛期の3分の1に激
減し、新幹線開業以前のベ
ースにまで落ち込んでいる。スキ
ー産業を取り巻く厳しい環境が
続く中、全国にはスキーヤー

の求めるニーズを的確に把握
し、スキーヤー目線に応える
スキー場経営に成功している
例もある。町の基幹産業であ
るスキー産業の衰退は町の衰
退を招くこととなる。何とか
これを阻止してスキー産業復
活のため、スキーヤーが湯沢
というスキーブランドに何を
求め、何が不足し、何を提供
すれば良いのか、専門機関の
ノウハウを活用した徹底調査
を行い、スキー王国湯沢の方
向性を見出し、来シーズンに
望むことが必要であると思わ
れるが見解を伺いたい。既に
長野県では各スキー場の経営
分析に着手し、スキー場淘汰
の指針づくりを始めている。
頼みは外国人だけの施策では
地域の持続的な発展にはつな
がらない。行政が一歩踏み出す
意欲が必要である。

町長答弁

日本中のスキー産業がま

さに崖っぷちであり、お客様
の視線に立った新しいビジ
ネスモデルの構築と需給バ
ランスの調整が求められて
いる。町観光協会の中に企画
宣伝委員会に加え、スキー観
光活性化委員会を設け、ヨー
ロッパや国内、特に長野県の
取り組みを研究しているので、
これと協力してやって行く。

保育園、小学校の統合、 小中一貫校と認定こど も園整備構想の町民周 知と、今後の進め方 について

質問

湯沢町の教育の大改革と
なる学校保育園の統合整備
構想の全容が町民に示される
ことなく、12回の地域説明会
が開催され、211名の参加
者に構想が説明された。本来
ならばこの構想が「広報ゆざわ」
で示され全町民に周知され、
その後説明会が開催されるべ
きであった。参加者や関係者
の再三の指摘にもかかわらず、
広報には、この構想が掲載さ
れることなく、突然説明会の
意見集約が掲載されたり、文
教施設整備検討委員会の委
員募集が掲載され戸惑いを感
じた町民も多く、町の手法に

町長答弁

日程的には相当きめ細か
くやったつもりだが、大勢の
皆さんから来ていただけなかつ
たのは事実なので、わかりや
すく簡単明瞭に町民の皆さん
が理解いただけるように「広
報ゆざわ」で出す。統合後の
施設の用途については充分
検討させてもらう。

教育長答弁

ナショナルトレーニング
センター等の公募は聞いて
いるが、まだ具体的な検討は
していないのでいろいろな
情報を視野に入れながらこ
れから検討したい。